



荒川中だより

# 青い雲

教育目標 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

令和7年度 第4号  
令和7年7月15日発行  
村上市立荒川中学校

## 体育祭に向けて ～創造する力～

校長 西村 諭

連日30度を超える暑さが続いています。学校では、こまめな水分補給や暑さ指数(WBGT)に基づく運動制限等を適切に行い、熱中症予防に努めています。また、理科室や調理室等の特別教室へのエアコン取り付け工事が、計画的に進められています。

さて、6月24日に体育祭の連合決めが行われ、体育祭の準備活動がスタートしました。夏休みを通して、応援・パネル・小道具のリーダーが、知恵を出し合い準備をしています。今年度は、どのような体育祭を作り上げてくれるのかを楽しみにしたいと思います。



『スローガンはSmile』

7月1日の全校朝会で、準備活動の参考になればと思い、「創造する力」をテーマにお話をしました。

トイストーリーやモンスターズ・インクなど、数々の名作を生み出しているアニメ制作会社があります。ピクサー・アニメーション・スタジオという会社です。その社長キャットムル氏が、創造力あふれる作品作りについて聞かれた際、次のように話されました。

「創造的な人は、献身的な努力を通じて、理想とする姿を見つけ実現している。その意味でいうと、創造性は短距離走よりマラソンに近い」「ピクサー映画は、作り始めは目も当てられないほどの駄作だ。最初からいいものができたわけではなかった。しかし、それを創造的な作品に作り上げるのに、ブレイントラストという仕事の過程がある」

ブレイントラストとは、制作の途中でスタッフが遠慮なく話し合いをする仕事のことです。しかし、ただ話合ってもうまくはいきません。キーワードは「率直」なのだそうです。キャットムル氏は「率直さほど重要なものはない」と話されています。「これはいいアイデアだろうか、それともくだらないアイデアだろうか。馬鹿にされないだろうか、恥はかきたくない。」などの気持ちがあるとだめだということです。

これから準備を始める生徒にも同様のことがいえます。優れたパネル、小道具、応援パフォーマンスをつくるためには、何度も率直な話し合いをして、練習を重ねる必要があります。そして、率直な話し合いの土台にあるのは、お互いの信頼関係です。相手をリスペクトする気持ちが大切となります。生徒の皆さんの頑張りを期待したいと思います。

7月25日から35日間の夏休みが始まります。規則正しい生活に心掛け、夏休みにしかできない挑戦をして、楽しい思い出をたくさん作ってほしいです。

地域では獅子踊りやイベント等で、生徒がお世話になります。普段と違った体験をする中で、色々な人との出会いがあります。新しいことに気付きながら、また一つ成長してほしいと願っています。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。